

# いわき農林水産ニュース

(ごちそう ふくしま絆づくり運動ニュース)

3月号 発行 平成25年 4月 1日



## 〈東日本大震災関連〉



### いわき地方の農林畜産物 モニタリング調査結果

福島県が行った、いわき地方の2月の農林畜産物の放射性物質モニタリング調査結果をお知らせします。

調査した12品目51検体のうち、10品目47検体は検査機器の検出限界値以下でした。基準値内で検出があった2品目はホウレンソウと牛肉で、基準値を超えたものはありませんでした。品目としては、山菜・きのこ、豚肉、原乳の検体すべてにおいて検出が認められませんでした(表1、2)。3月25日現在、いわき地方産の農林畜産物で出荷が規制されているのは、ユズ、くり、たけのこ、ぜんまい、たらめ(野生のものに限る。)、わらび、こしあぶら、野生きのこ、原木なめこ(露地栽培)となっています。

また、平成24年産の米は、全袋検査を実施しており、2月末までの検査点数、514、725点のうち99.7%の513、194点が測定機器の測定下限値未満、1、530点が基準値内で検出が確認されました。もち米1点が基準値を超過しましたが、管理され市場には出回っておりません。調査結果は、福島県のホームページ「ふくしま 新発売。」の農林水産物モニタリング情報、24年産米については、「ふくしまの恵み安全対策協議会」で簡単に検索できますので、結果をご確認ください。

(表1) 農林畜産物の調査結果 (2月)

放射性セシウムが検出されなかった品目と検体数	放射性セシウムが検出された品目と検体数		計
	基準値内で検出された品目と検体数	基準値を超過した品目と検体数	
10品目 47検体	2品目 4検体	0品目 0検体	12品目 51検体

(表2) 1点も放射性セシウムが検出されなかった品目と検体数

ナバナ (施設) 1	ミニトマト (施設) 1
ミツバ (施設) 1	菌床しいたけ (施設) 2
ダイコン 1	菌床なめこ (施設) 2
トマト (施設) 3	ふきのとう (野生) 1
豚肉 1	原乳 4

## 〈一般情報〉



### 長野県農業士協会農業視察 研修と情報交換会が開催 されました

2月14日(木)、長野県農業士協会に所属する18名の皆さんが、いわき市管内の農家で農業視察を行った後、県いわき合同庁舎において本県の青年農業士2名と情報交換会を行いました。

農業視察では、青年農業士の草野城太郎氏の葉ねぎの水耕栽培状況と出荷調整作業を見学しましたが、研修に参加された皆さんは、水耕栽培を見るのが初めてということで、プラント装置や栽培技術について熱心に質問していました。

また、情報交換会では、最初に長野県農業士協会から福島県青年農業士会へ義援金の贈呈があり、県青年農業士会副会長の坂本和徳氏が代表して受け取りました。

長野県からは災害時の留意点や風評被害対策などについての質問が多くありました。それに対していわき市の青年農業士からは、まず災害時の留意点として、災害時はガソリンや飲料水、食料など生活物資の不足が一番困ったので、日ごろから備蓄が必要であること、次に風評被害対策として、放射性物質吸収抑制対策やモニタリング検査を行って情報を公開していることなどの話がありました。風評被害については、消費者の理解が得られない一方、「福島県の農産物は検査体制がしっかりしているから安心である。」との消費者の声もあり、「今後も消費者の信頼回復に向けて放射性物質検査を続け、安全・安心な農産物を届けていきたい。」との発言がありました。



(義援金の贈呈)



## 農道整備促進期成同盟会 研修会が開催されました

広域営農団地農道整備事業「いわき地区」は、いわき市が市北部で計画している広域営農団地整備計画を実現させるため、起点の小川地域から終点の四倉地域間で、平成3年度から事業を実施しています。

この整備促進を目的に活動を行っている「いわき地区広域営農団地農道整備促進期成同盟会」の研修会が2月20日（水）に椿山荘で開催され、農林事務所では、これまでの整備状況と今後の課題について説明を行いました。

整備状況としては、小川町福岡～小川町柴原の約4km区間を既に供用開始しており、更に平成25年度には四倉へ向かう1.7kmの区間を供用開始する予定であり、今後は四倉地域の終点部までの整備を優先に進め、この区間を3年程度で完成させることを目標にしています。

課題としては、起点部の小川地域の残区間は、橋梁、大規模掘削、JR磐越東線の横断など、技術的な難所が多いことから、詳細な調査・設計を実施しながら、四倉地域の完成後、速やかに工事を実施できるように準備を進めているところです。

この事業は、受益農家の皆様からの申請事業として実施していますが、法面の安定化対策などの実施により事業費が増えたことから事業計画を変更する必要があるため、これについて受益農家の同意が必要となっています。今後は事業計画の変更内容について受益農家の皆様に説明を行い、同意を得ていきます。

東日本大震災からの復旧・復興事業を最優先としていることから、広域農道いわき地区のような通常事業については予算確保が厳しい状況ですが、いわき地域の農業振興を目標として、職員一丸となって事業を進めていきます。



（期成同盟会研修の様子）



（完成区間）



## 第2回「いわき農業普及 推進懇談会」を開催 しました

2月27日（水）、県いわき合同庁舎において、第2回「いわき農業普及推進懇談会」を開催しました。

今後の普及指導活動や営農対策を効果的に推進するため、今年度の普及指導活動の取組経過を報告し、関係機関や農業者代表から意見をいただきました。

普及指導活動の実績として、農産物のモニタリングによる安全性の確認や米全袋検査への対応、津波被害地区での基盤整備の推進やイチゴの塩害対策、水稻の放射性物質吸収抑制対策技術、草地更新による除染対策の普及支援などを報告しました。

また、来年度の普及指導計画における普及指導活動の考え方についての説明を行いました。

出席者からは、未だに風評被害が収束しない現状を始め、米全袋検査の対応状況等の報告や、農業者が意欲を持って生産できるような取組を求めるとの意見をいただきました。今後もいわき農林事務所では関係機関と連携し、災害からのいち早い復旧・復興を求める営農対策を重点とした活動を展開することとしています。



（第2回「いわき農業普及推進懇談会」）



## 第4回クラスター分科会を開催しました

2月28日（木）、いわき農林事務所では、“サンシャインいわき”の農産物を使った特色ある特産物を創出するいわき地域産業6次化ネットワーク交流会「クラスター分科会」の第4回目を県いわき合同庁舎で開催しました。

今回の分科会では、首都圏で実施した試作品（梨、日本酒のジェラート）のモニター調査のアンケートの集計結果報告や試作品の改善点、今後の展開についての協議が行われました。

モニター調査の結果は、下の図1、2のとおりです。

（試作品の評価）

【図1】

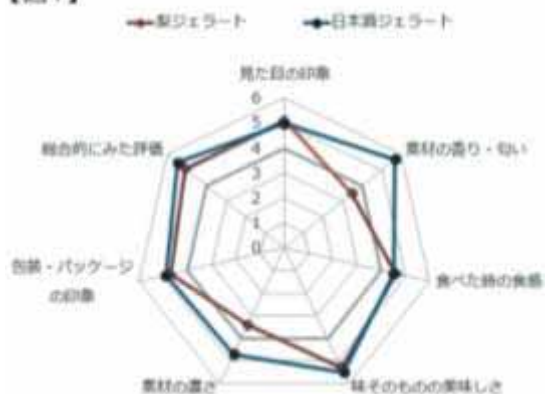
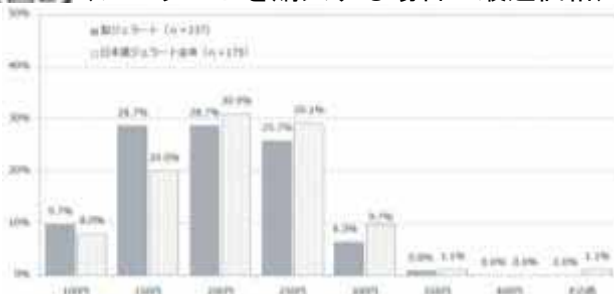


図1の評価のうち総合評価は、7点満点中、梨ジェラートは5.1点、日本酒ジェラートは5.5点であり、どちらも総合評価は、概ね高いことが分かりました。

ただし、梨ジェラートにおいては、「素材の香り・匂い」及び「素材の濃さ」が3点台であり、梨の味を強めることが今後の課題であることも分かりました。

【図2】（ジェラートを購入する場合の最適価格）



価格についての平均値が「梨ジェラート：196円」「日本酒ジェラート：208円」となり、日本酒ジェラートの方が12円高い評価になりました。

なお、今後の展開については、地元で実際に試験販売を行う業者の発掘と試験販売の実施を目指しています。



## 第2回ネットワーク交流会を開催しました

3月7日（木）、県いわき合同庁舎において、いわき地域産業6次化運営会議（事務局：いわき地方振興局・いわき農林事務所・水産事務所）主催による平成24年度第2回「いわき地域産業6次化ネットワーク交流会」が開催されました。

まず、今年度のいわき地域産業6次化の代表的な取り組み事例について事務局より説明がありました。

次にクラスター分科会コーディネーター橘あすか氏よりクラスター分科会の試作品（ジェラート）の開発経緯と開発する試作品を「いわき産梨」と「日本酒」のジェラートに絞ったこと、今後の展開方向などについて説明がありました。

説明と同時に、試作品のジェラートに「いわき産ねぎ」を加えた3種類のジェラートの試食も行われ、参加者は説明を聞きながら、おいしそうに試食していました。

さらに、県産品加工支援センターによる地域産業6次化支援についての説明と「天のつぶ」試験醸造結果に関する説明がハイテクプラザ会津若松技術支援センターの担当者からあり、同時に、試験醸造したいわき産米「天のつぶ」を使った日本酒の試飲も行われました。

最後に、6次化開発商品展示交流会が行われ、アグリ物産株式会社、有限会社とまとランドいわき、ゆうゆうファームによる自社商品のプレゼンテーションが行われ、その後会員間の交流の時間となり、参加者が盛んに意見交換を行っている様子が見られました。

※地域産業6次化…

農林水産業と加工業（2次産業）サービス業（3次産業）などの他の産業が連携・融合することにより付加価値の創出を目指す試み。



（コーディネーターによる説明）



(意見交換が活発に行われた展示交流会)



## 伐採作業現場の安全 パトロールを実施しました

3月8日(金)、平成24年度の第4回先山ゼロ災推進安全巡回指導(安全パトロール)を実施しました。

林業及び木材製造業における労働災害は、他産業と比べても発生頻度が高い状況にあります。このため、伐木造材作業や集材作業等の作業現場において、危険な作業が行われていないか、労働基準監督署、林業・木材製造業労働災害防止協会の安全衛生指導員及び農林事務所職員らが各事業場を訪れ指導するもので、年4回程度実施しています。

今回は、平国有林内の(有)八千代産業の遠野町塩の作業現場と磐城造林(株)の田人町社有林内の作業現場において、伐木作業等の巡回指導を行いました。

作業員の方々に対し安全衛生指導員の平子作磨氏より、チェーンソー等の正しい使用法やチェーンソーを使用する伐木作業、林内作業車による集材作業に関する注意事項についての説明があり、続いて安全衛生指導員の塚田和徳氏より林業労働災害の発生状況や災害防止対策について、農林事務所職員より放射線障害防止対策に関する留意事項について説明を行いました。

今後も同巡回指導の継続的な実施等により、林業労働災害の未然防止を図ってまいります。



(巡回指導の状況)



## 食彩ふくしま地産地消 推進店のメニューの紹介

地産地消推進日(4月は8日(月))に合わせ、いわき農林事務所に情報提供のあった食彩ふくしま地産地消推進店のメニューを紹介しますので、ぜひご賞味ください。

なお、内容は変更される場合がありますのでご了承ください。

- 1 正月荘(平字大町)
  - (1) 推進日のメニュー  
地産地消メニュー: 和・洋料理各種(添え物)  
説明: とまとランドいわきのトマトを使用  
実施日: 4月8日(月)
  - (2) 推進日を含む毎日のメニュー  
地産地消メニュー: ①イチゴのゼリー  
②海老の若草ソース  
説明: ①アグリパークいわき観光農園のイチゴを使用  
②とまとランドいわきのトマトを添え物に使用
- 2 常磐自動車道四倉パーキングエリア上り線 レストラン(四倉町)
  - (1) 推進日のメニュー  
地産地消メニュー: 沢煮うどん、沢煮そば  
説明: いわき産のごぼう、ニンジン、ネギ、水菜を使用  
実施日: 4月8日(月)
  - (2) 推進日を含む毎日のメニュー  
地産地消メニュー: ①刺身定食  
②あなご天重  
説明: ①②とも県産米を使用。  
①旬の魚4点盛り  
②揚げたて。特大あなごを2匹使用。
- 3 いわき食彩館株式会社 スカイストア(平字一丁目)  
メニュー: ①日替わりランチ  
②日替わり弁当  
説明: いわき産のこだわりの食材を生かした料理(県産の米、野菜等を含む)  
実施日: ①月~金曜  
②毎日

## いわき農林事務所からのお知らせ

○ ふくしまの最新情報を「ふくしま 新発売。」に掲載していますのでどうぞご利用ください。

<http://www.new-fukushima.jp/index.html>

- 1 「がんばろう ふくしま応援店！」一覧
- 2 イベント情報
- 3 農林水産物モニタリング情報
  - (1) モニタリング情報検索
  - (2) 出荷制限等一覧表

※お詫びと訂正

3月1日発行のいわき農林水産ニュース2月号において、記事の内容に一部誤りがありました。お詫びして訂正申し上げます。

(いわき農林水産ニュース2月号1ページ右側)

県立平養護学校及び県立いわき養護学校では、「ふくはる香」をそのまま給食のデザートにしました。県立いわき平養護学校では、児童からの「甘くておいしい。またこのおいしいイチゴを食べたい。」という感想が聞かれたほか、お昼の放送でイチゴの品種について紹介したところ、先生から「初めて食べる品種だが、粒が大きく甘かったので、店頭等で購入したい。」という希望が聞かれました。一方、県立平いわき養護学校では、給食だよりも今回の給食でいわき産のイチゴ「ふくはる香」を使用したことに関する記事を掲載して、保護者の方々にお知らせする予定となっています。

「東日本大震災」  
及び「原発事故」からの  
復興のために！



◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課  
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地  
(県いわき合同庁舎 3階)

T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196  
U R L <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>  
E- Mail [iwaki.nourin@pref.fukushima.lg.jp](mailto:iwaki.nourin@pref.fukushima.lg.jp)

